

鴨川市教育委員会 9 月定例会会議録

- 1 日 時 平成24年9月21日(金) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時30分
- 2 場 所 鴨川市天津小湊支所 2階 会議室
- 3 出席委員 (1) 佐々木久之 (2) 根本新太郎 (3) 佐久間秀子
(4) 村上 修平 (5) 野田 純
- 4 出席職員 (1) 蒔苗 茂 (2) 前田恵美子 (3) 黒野 雅典
(4) 原 一郎 (5) 小倉 茂

5 委員報告

- ・ 佐久間委員から、鴨川中学校の体育祭を参観したこと、準備体操がストレッチのようなものだったこと、普段運動していない文化部の生徒には準備運動としては時間が短かく不十分と思ったこと、長狭学園の体育祭は生き生きとした動きがありよかったこと、特に全校男子による組体操が9段あって素晴らしかったこと、ただその脇で3人ほど演技していたが、その子どもたちの生かし方に一工夫が必要と思ったこと、参観の方へ種目の紹介と説明が文書で配布されたことがよかったこと、県の研修会ではパネルディスカッションがあり、その中で一ノ宮町教育長が教員の資質向上でわかりやすい提案があったこと、石毛教育長が一般企業派遣への意義を話されていたこと、行政経験も大事だが企業経験も大事であること、市町村からあがった要望を県として対応して欲しいとの意見に対して、県教育庁としては特に対応を考えていないとの回答があったこと、3地区の発表では館山市の方から児童生徒の通学路安全対策についてわかりやすい説明があったこと、鴨川市と館山市と市原市が既に行われていること、等について報告がなされた。
- ・ 村上委員から、県教育委員会研修会と安房東中学校市教委訪問に参加したこと、パネルディスカッションがあったこと、教職員の資質向上で県は経験年数に応じて研修を行っていること、一ノ宮町や旭市では県に準じて研修を行っていること、船橋市は独自に研修を行っていること、一宮町や旭市ではT・Tをたくさん行うことで若手教員を育てていること、フォローアップ研修の推進員が不足していること、旭市では各学校に校長裁量の補助金を出していること、教育委員会の点検と評価の分科会で市川市や県では5年くらいのスパンで達成率を出していること、見た目でもわかりやすくグラフ等でまとめていること、教育委員の自己点検を行っていて参考にすべきではないかということ、等について報告がなされた。

- ・ 根本委員から、長狭教育の会の趣旨が懇親を深める会ということがわかったこと、自治体の規模によって教職員の研修が違うこと、若年教員の研修に課題があること、道徳の分科会では道徳性を高めるための発表があったこと、小さい子どもが両親によって虐待される事件があるが道徳を学んだ親がなぜ虐待するのか疑問に思うこと、安房東中学校訪問では、いじめアンケートについて質問したこと、アンケートの様式が市内で統一されているのかと思ったこと、アンケートをとることで意識が向くことは良いことなので続けていくが大切なこと、アンケートをとるときに担任がどのように投げかけているのか、等について報告がなされた。
- ・ 佐々木委員から、学校適正規模検討委員会に参加して地域の活性化と学校の統廃合について保護者等の感覚が整理できていないのではと思ったこと、もっと教育論的な説明が必要だと思ったこと、教育論的な資料が少ないと感じたこと、市町村教育委員会連絡協議会では、大津のいじめ問題の話があったが、いじめを取り締まることはもちろんだが周りの人たちも傍聴者にならないように教育をしていくことが大切であること、教員の資質向上に関するパネルディスカッションでは、教員の研修でも地域格差があること、内容としては専門的な研修や人間性を高める研修等いろいろあること、いじめを早期に発見するためにも人間力が必要であること、道徳の授業以外の日常的な場面でしっかりと誉めて認めることが大切なこと、高校に入って道徳をやって効果があるのか疑問に思ったこと、鴨川小学校の運動会では午後雨が降ったが、その中で子どもたちが頑張っていて感動したこと、安房東中学校訪問では落ち着いていたが元気がなかったこと、中学校区でよく研修をしていて驚いたが成果についても検証する必要がある、等について報告がなされた。
- ・ 佐久間委員から、学校には若い人もベテランもいることが望ましいと思うので鴨川市でもぜひそのような人事配置要望したい。太海小学校で昔の応援歌を掘り起こして披露したことは地域の方が大変喜んでいるのでは、学校の地域を想う姿勢が良いと思ったこと、県の研修会のパネラーがそれぞれ意見を述べコーディネーターがまとめる形式はパネルディスカッションではないと思ったこと、もっとパネラー同士が意見を交換するような持ち方が望ましいと思ったこと、等の感想を述べられた。

6 教育長報告

- ・ 野田教育長から、江見、太海、曾呂地区の意見交換会では地域の方が多かったこと、区長さんを動員した地区があったとのこと、保護者の意見では統合に反対の意見が出なかったこと、早く統合して欲しいという切実な考えを持っている保護者もいたこと、鴨川中学校の体育祭でストレッチを準備運動に取り入れていたが、人に見せるものではないと感じたこと、人に見せる場合はラジオ体操をしっかりやった方がよいこと、9月市議会では子育てイベントに対する取組みについて、文教厚生常任

委員会では社会体育センターの活用について質問があったこと、太海小の地域おこしの応援歌の発掘は非常に特徴的な取り組みであったこと、太海小の運動会では地震津波があったときの対応について文書が配布されたこと、小湊地区意見交換会では小湊小の耐震について要望があったこと、佐久間委員からの質問については、40代以下の教職員が少ないこと、指導という面では課題が大きくなる時代がやってくること、資質を備えた教員を採用することが大切なこと、いじめも教員の資質に関係していること、子どもの変容を早く見抜く教員の育成が必要であること、等について報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・ 質疑がなく、全員の了承が得られた。

7 議 事 議案なし

8 その他

- (1) 各課長から、「10月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。
 - ・ 佐久間委員から、横山大観展を見学しながら研修等ができないかとの意見が出された。
- (2) 蒔苗教育次長から、「平成24年度安房地区教育委員会連絡協議会研修視察」について、資料をもとに確認がなされた。
 - ・ 村上委員から、例年鋸南で乗り降りしたが、鴨川でよいのかとの意見が出たが、鴨川市役所の乗降で理解が得られた。
- (3) 蒔苗教育次長から、「時報市町村教委の購読希望」について、資料をもとに確認がなされた。
- (4) 蒔苗教育次長から、「第4回教育委員会研修会開催」について、確認がなされた。
 - ・ 文化財センターを中心会場として、横山大観展、野間土手の研修、その後、定例教育委員会を開催するとの説明がなされ、了承された。
- (5) 蒔苗教育次長から、「教育長歓送迎会」について、資料をもとに説明がなされた。
- (6) 村上委員から、安房東中学校で武道の授業が始まり柔道の専門家を確保したいとの要望があったこと、おもしろ科学実験教室はすごく好評だが、学校の先生が参加して授業にフィードバックできないかとの質問があり、蒔苗教育次長より、おもしろ科学実験教室には安房理科学研究会の先生方も協力していること等について説明がなされた。

- (7) 平成24年度生涯スポーツ功労者の受賞について、原スポーツ振興課長から説明がなされた。
- (8) 今後の所長訪問等について、前田学校教育課長から説明がなされた。

佐々木委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成24年10月25日

鳴川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔苗 茂